

# 気象界消息

## 1 ダフィ氏 再び来日

WMO 通信関係視察のため20ヶ国余の訪問を終えたカナダ気象局 Duffy 氏は再度、9月22日から10日間、来日した。

## 2 坂岸氏 渡欧

原子力研究所 坂岸昇吉氏は原子炉関係の大気汚染防護視察のため、10月11日、欧州へ向った。約40日、ヨーロッパおよびアメリカの各地を視察する予定。

## 3 森安氏 渡米

神戸海洋気象台 森安茂雄氏(海洋課調査官)は10月16日海洋学研究のため、渡米する。留学先はオレゴン大学。

## 4 渡辺和夫氏 渡米

気象研究所台風研究部の渡辺和夫氏は日米科学協力研究にもとづく「太平洋上の空の観測」に参加のため、10月20日から約1ヶ月の予定で渡米する。

## 5 URSI 会議出席の外国気象関係者

光号で一部お知らせしたが、9月上旬のURSI 総会出席のため来日した気象関係の学者は次のとおりであった。

K. Ramanathan (インド), A. Vassy (フランス), R. Mühleisen (ドイツ), L. Königfeld (ベルギー), D. Atlas (アメリカ), J. Marshall (カナダ), Hay (カナダ), S. Bigler (アメリカ), Falconer (オーストラリア)

## 6 有住・松島両氏 沖縄へ

10月7日、気象庁高層課 有住直介・松島富美雄の両氏は石垣島高層観測開始の指導のため沖縄へ向った。約3週間滞在し指導にあたる。

## 7 10日も早い初冠雪

9月16日、平年より10日も早く北アルプス一帯に初雪があった。20m/sの強風を伴った吹雪のため長野駅白

馬は氷点下5°Cを記録した。

## 8 ハリケーン、アメリカ南部をおそう。

アメリカ・テキサス州沿岸一帯に9月16日、ハリケーンが突然おそった。シンディの風は22m/sを記録した由。

## 9 北海道の集中豪雨

9月15日から16日朝にかけて、北海道奥尻島をおそった集中豪雨は死者1名、行方不明10名、負傷10名をだしたと報じられている。

## 10 ノースカロライナのたつまき

9月28日、アメリカ・ノースカロライナ州、ディロン市にたつまきがおそい、3名が死亡、24名が負傷したとのこと。

## 11 台風、日本とハイチへ

10月5日、台風17号が八丈島南方をかすめて通過したが、被害はなく台風王国に珍しい静かな10月だったが、ハイチから1英領バハマ島へ抜けた10月6日のハリケーン、フロラは猛威は、ハイチで4000名以上の死者が出たとのこと。

## 12 パキスタンのサイクロン

10月8日には、東パキスタン、チャッタゴン附近をおそったサイクロンが、家屋1000戸以上を破壊しきった由、また、バリサル沖で1隻の船が沈没したとの報もあった。

## 13 イタリアの山くずれ

10月11日、イタリア、バイオンテ貯水池は豪雨にゆるんだ山くずれにおそわれて、わずか数時間の中にダムがくずれおち、4000人以上が死傷したと伝えられた。

## 14 札幌管区気象台 燃える

10月2日、札幌庁舎の一部が火災をおこした。幸にも被害は少ない。

## 理事会便り

### 第16回常任理事会議事録

日時 昭和38年10月7日17.00~20.00

場所 神田学士会館

出席者 増田、松本、須田、今井、正野、村上、神山、淵、各理事(順序不同) 鈴木委員

#### 決議

1. 秋季大会で荒川昭夫氏に受賞記念講演、正野氏、磯野氏等にパークレー、ポールドーからの帰朝談を依頼する。

2. 中国学術代表团歓迎委員会の代表委員に正野理事長、委員に全常任理事があたる。
3. 臨時に日中学術交流委員会を編成し、国際学術交流委員の外に下記の諸氏に委員を依頼する。  
渡辺次雄、田辺三郎、小林正治、北村正函、奥田讓、町田英三郎、磯野良徳、吉野まさ。
4. 国際雲物理会議に関する計画案の再検には今井理事があたる。(359頁につづく)